

## 大会プログラム

第1日目 11月2日(土)

10:30~12:30	評議員会	A会場, 327号室
12:30~	大会開場 シンポジウム一般受付開始	P会場, 2階ピロティ
13:30~13:40	開会のあいさつ	S会場, 232号室
13:40~16:10	公開シンポジウム	S会場, 232号室とオンライン
<p>「新発見の連続！ワクワクする鱗翅目のフィールド調査(仮題)」            オーガナイザー:広渡 俊哉・屋宜 禎央</p> <p>S101. 西田 賢司 (探検昆虫学者)「コスタリカの虫こぶをつくるさまざまなガ」            S102. 末藤 清一 (大牟田市)「スラウェシの蝶の生態と新知見」            S103. 四方 圭一郎 (飯田美博)「日本の極地 南アルプス高山帯の蛾を調査する！」            S104. 屋宜 禎央 (九州大学)「独自の多様性と外来種が織りなす小笠原の蛾類を求めて」</p>		
16:10~16:20	記念写真撮影	1階エントランス
16:30~17:15	一般講演(A会場, 327号室)	一般講演(B会場, 328号室)
16:30	A101. 水原浩晴・○江田慧子(近畿・関学大) 蝶の多様性への理解を深めるカードの製作と実施	B101. ○荒島弾・屋宜禎央・佐々木公隆・鈴木信也・広渡俊哉(九州) 西日本のカルスト草原で発見されたヒラタマルハキバガ科の国内未記録種(チョウ目:キバガ上科)
16:45	A102. 井上咲貴・上田昇平(近畿・大阪公立大院・農)・角正美雪(伊丹市昆虫館)・○平井規央(近畿・大阪公立大院・農) スジグロカバマダラのマダラヤドリバエに対する寄生回避の方法	B102. ○鈴木信也(九州)・神保宇嗣(関東)・屋宜禎央(九州)・広渡俊哉(九州) 日本産 <i>Aethes</i> 属(ハマキガ科)の分類学的新知見
17:00	A103. ○竹内剛、石井実、平井規央、上田昇平、林太郎(近畿・三草山トラスト委員会) 大阪府能勢町三草山のゼフィルス類の現状	B103. 那須義次(近畿) 日本新記録の <i>Parabactra</i> 属(ハマキガ科, ヒメハマキガ亜科)
17:30~19:30	懇親会	ビッグドラ

第2日目 11月3日(日)

9:30~11:30	一般講演(A会場, 327号室)	一般講演(B会場, 328号室)
9:30	A201. ○金井賢一・守山泰司(九州) 北琉球のタイワンツバメシジミ: 移動・分散のモニタリング	B201. ○Sang-Yoon Kim, Bong-Kyu Byun (Hannam Univ.) Taxonomic study of the genus <i>Argyresthia</i> Hübner (Lepidoptera: Argyresthiidae) in Korea
9:45	A202. 井上大成(関東・森林総研多摩) チョウのトランセクト調査に最適な時刻は何時か～関東地方の低山地での調査例	B202. ○June-Hyeok Jeong, Ji-Young Lee, Jae-In Oh, Sang-Yoon Kim, Young-Gwang Song, Bong-Kyu Byun (Hannam Univ.) Taxonomic study of the family Glyphipterigidae (Lepidoptera: Yponomeutoidea) in Korea
10:00	A203. 鈴木光(九州) ベニシジミの翅色と蛹期間の関係について	B203. ○Jae-In Oh, Bong-Kyu Byun (Hannam Univ.) Korean species of the genus <i>Bucculatrix</i> (Lepidoptera: Bucculatricidae)
10:15	A204. ○上田恭一郎(九州)・田中誠(東京都府中市) 「アサギマダラ」という和名は誰がつけたか?	B204. Jin-Sung Kweon (NIFoS), ○Ji-Young Lee, Young-Gwang Song, June-Hyeok Jeong, Jae-In Oh, Ji-Young Lee, Sang-Yoon Kim, Bong-Kyu Byun (Hannam Univ.) Genus <i>Grapholita</i> (Lepidoptera: Tortricidae) of Korea
10:30	A205. 小田康弘(関東) ウラギンヒョウモン2種♀の形質差について	B205. ○Ji-Young Lee, Bong-Kyu Byun (Hannam Univ.) Korean species of the subfamilies Hypenodinae and Boletobiinae (Lepidoptera, Erebidae)
10:45	A206. 大東康人(近畿) ヒサマツミドリシジミ雄雌の交尾戦略	B206. ○広渡俊哉(九州)・安能浩(韓国国立生物資源館)・屋宜禎央・松井悠樹・朴鎮亨(九州)・李峰兩(韓国国立樹木園)・襄良燮(仁川大学) 韓国江原道で採集されたヒゲナガガ4種について
11:00	A207. ○松井安俊(関東)・星光流(東京都八王子市) 多摩丘陵北部の蝶・最近10年の変化(3)	B207. ○酒井大輔・坂巻祥孝(九州) 日本産 <i>Stenolechia</i> 属と近縁属の分類学的再検討(キバガ科)
11:15	A208. ○松井悠樹・屋宜禎央(九州)・木村正明(日本蛾類学会)・広渡俊哉(九州) 小笠原の固有種ハイロノメイガに近縁な未記載種とそれらの所属について	B208. ○岡太陽(九州)・神保宇嗣(関東)・綿引大祐(関東)・屋宜禎央(九州) 日本産リングヒメシクイ種複合体(メムシガ科)の分類学的研究

11:40~12:10	ポスター発表 コアタイム(P会場, 2階ピロティ)
<p><b>P-1</b> ○小山凜斉(中国)・清水加耶・宮永龍一(島根大学大学院自然科学研究科) 山陰地方におけるハマゴウノメイガの生活史</p> <p><b>P-2</b> ○杉浦壘(中国) 島根県におけるキアシドクガの個体群動態の推移</p> <p><b>P-3</b> ○米倉咲良・村田浩平(九州)・岩城 優作(東海大学大学院農学研究科農学専攻) 阿蘇地域におけるオオルリシジミと草原性蝶類の保全活動</p> <p><b>P-4</b> ○川島育海・松井悠樹・屋宜禎央(九州) クストイゲを利用する <i>Gibberifera</i> 属(ハマキガ科:ヒメハマキガ亜科)の1新種</p> <p><b>P-5</b> ○浜口純平・屋宜禎央・広渡俊哉(九州) 小笠原諸島産 <i>Calicotis</i> 属(チョウ目:ニセマイコガ科)に関する研究</p>	
11:40~12:10	将来問題検討委員会(A会場, 327号室)
12:10~13:00	自然保護委員会(公開, 昼食持参可)(B会場, 328号室)
13:10~13:40	総会(S会場, 232号室)
13:40~14:50	授賞式(学会賞, 奨励賞, フォトコンテスト)および受賞記念講演(S会場, 232号室)
<p>第四回日本鱗翅学会賞および奨励賞受賞記念講演</p> <p>学会賞</p> <p><b>本田計一(中国)</b> 「チョウ類の行動とその進化に関する化学生態学的研究」 —アマとプロのチョウ研究体験記—</p> <p>奨励賞</p> <p><b>江田慧子(近畿)</b> 「里山環境に生息する3種の絶滅危惧チョウ類の保全・保護に関する生態学的研究」</p>	
15:00~16:30	小集会(S会場, 232号室)
<p><b>WA-1 自然保護小集会「九州における希少チョウ類保全の現在と展望」</b></p> <p>世話人: 佐々木公隆・矢後勝也(LSJ自然保護委員会)</p> <p>佐々木公隆: 趣旨説明</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 矢後勝也(関東)ほか「ツシマウラボシシジミでめざす持続可能な保全の取り組み」</li> <li>2. 村田浩平(九州)「九州・阿蘇地域のオオルリシジミ保全の現状と課題」</li> <li>3. 松尾優(大野岳台湾ツバメシジミ保存会)「佐賀・大野岳台湾ツバメシジミの現状とメガソーラー問題」</li> </ol> <p>総合討論</p>	
16:30	閉会・終了